

Always appropriate for the times

時流の変化を捉えた15年の事業展開

当社の事業戦略

「日本のSBI」から
「世界のSBI」へ

金融生態系の形成・構築

'99 '00 '01 '02 '03 '04 '05

- 株式委託売買手数料自由化に代表される金融ビッグバン
- 政府が「貯蓄から投資へ」の方針を発表
- 中国経済の急成長
- 日本の貿易収支と所得収支の逆転
- インターネットの普及が加速
- ブロードバンド化の進展

当社を取り巻く経済・社会情勢

- 1999年7月
ソフトバンク・インベストメントとして設立され、ベンチャーズ・インキュベーション事業を開始。
- 1999年10月
イー・トレード証券(現SBI証券)がインターネット取引開始。
- 1999年11月
ソフトバンクベンチャーズ(現SBIインベストメント)を完全子会社化。
- 2000年7月
当時日本最大規模となる出資約東金総額1,505億円のソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンドを設立。
- 2002年2月
東京証券取引所市場第一部に上場。
- 2004年7月
モーニングスターを子会社化。
- 2005年5月
シンガポールの投資会社と有望な中国企業を投資対象としたNew Horizon Fundを共同設立。
- 2005年7月
SBIホールディングスに商号変更し、持株会社体制に移行。
- 2005年10月
初の海外拠点として北京駐在員事務所を開設。

金融サービス事業において
証券・銀行・保険を3つのコアとし、
徹底的な「選択と集中」を推進

ブリティッシュカット化を打ち出し、
規模の拡大から収益力重視へ

インターネット金融
コングロマリット体制の確立

'06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14

● BNPパリバショック

● ギリシャ債務問題発覚

● ギリシャ債務問題の再燃

● リーマンショック/
第1回G20サミットの開催

● 欧州債務危機

● 米国QE3縮小問題/
中国経済の減速

● 2007年2月
シンガポール現地法人SBI
VEN CAPITAL PTE. LTD.
を設立。

● 2007年8月
私設取引システム(PTS)を
運営するSBIジャパンネクスト
証券が営業開始。

● 2007年9月
住信SBIネット銀行が開業。

● 2006年8月
ソフトバンクが子会社を通じ
て保有していたSBIホール
ディングスの全株式を売却。

● 2008年1月
SBI損保が開業。

● 2008年4月
SBIファーマを設立。

● 2008年11月
FX取引のマーケットインフラを
提供するSBIクイディティ・マー
ケットがサービス提供開始。

● 2010年7月
SBIグループの「ブリティッシュ
カット化」を発表。

● 2013年3月
現代スイス貯蓄銀行(現SBI
貯蓄銀行)を子会社化。

● 2012年3月
中国大連市に中国事業統括
会社である思佰益(中国)投
資有限公司を開業。